

特設サイトを通じた感染防止策や運行支援策に関する情報発信 ～有事における国の施策を受けた地方自治体の制度設計を支援するために～



新型コロナウイルスによる

交通崩壊を防げ!

<https://covid19transit.jp/>

井原雄人（早稲田大学）

太田恒平（株式会社トラフィックブレイン）

諸星賢治（株式会社トラフィックブレイン）

加藤博和（名古屋大学）



2020年4月上旬

交通事業者からの不安・不満の圧が上昇

- ・ 感染防止、運行維持への不安
- ・ 行政・業界団体の対策への不満

外野である自分たちにできることは何か？

情報共有・情報発信であれば手伝える！



私たちがやったこと

情報共有

オンライン フォーラム

別発表
加藤博和,
伊藤昌毅ら

特設サイト

SNS 連絡会・アンケート



Messenger

感染拡大策 (ポスター等)



運行情報まとめ

運行情報まとめサイト

【全国高速バス】Hiroshi Project 高速バス運行状況
 【北海道】北海道全体 運休・減便 by NPO法人ゆうらん
 【神奈川/湘南】湘南地区の鉄道・バス 減便・運休など運行情報まとめ
 【東海】東海地方の公共交通 コロナウイルスの影響による運休状況など by 路線図ドットコム
 【滋賀/大津・草津】おとお交通まちづくり推進会 Facebook 5/16現在
 【京都】twitter @kasobus
 【奈良・和歌山】奈良・和歌山県内 路線バス運行情報のまとめサイト
 【岡山】岡山県内電車バス運行状況 by 公共の交通ラグダ(RACDA)
 【広島】広島県交通機関運行情報 by 広島県バス協会/災害時公共交通情報提供研究会/呉高専 神田研究室
 【広島】新型コロナウイルス感染拡大に伴う減便・運休のお知らせ by 広島県バス協会
 【鳥取】県内公共交通機関の影響 by 鳥取県
 【徳島】主な公共交通機関の状況 by 徳島県
 【九州】Qサボネット Facebook
 【鹿児島】交通情報 by 鹿児島放送
 【沖縄】バスマップ沖縄

経済支援まとめ (事例集・Tips)

市町村の事例

札幌市（0626追記）

公共交通機関緊急支援費

- ・路線バス（市内路線のみ）：1台あたり10万円
- ・タクシー：1台あたり1万円

函館市（0521,0703追記）

市町村公共交通事業者等特別支援金

- ・バス：1事業者あたり30万円
- ・タクシー：1事業者あたり30万円、個人10万円
- ・路線バス営業所土地建物等賃料の減額

市町村貸切バス利用促進事業補助金

- ・貸切バス：条件を満たす貸切バスツアー

臨時交付金 FAQ

関係者とアラインを踏まえた
大抵の制度です

Q.損失補償に使えないのは？（24.公共交通機関事業）

A.立て付け次第

- ・運賃増徴・利用喚起・過剰地の生活維持などの名目を立てる
- ・1路線2万円、1台2万円といった支給も考えられる
- ・「奨励金」と称しているのは「損失補償」ではないアプリバイ

Q.スクールバスにしか使えない？（23.商業軽減のための輸送能力増強事業）

A.事業所の通勤バス特定輸送などにも使えるはず

- ・文科省のタマだが「密集を避けるためのバスの増便・増車」「少数・多頻度輸送」は他施設にも当てはまる

Q.過去の施策に使えるのか？

A.自治体が過去に適用する制度にすればOK

Q.業早く事業者に資金を届けるには？

A.概算払いの項目を自治体の制度要綱に入るとよい

コンテンツ 作成



情報共有 の取組



SNSに集まる不安・不満

- ・ **普段**から交通事業者とFacebook Messengerで繋がっている
- ・ **自然**とコロナ禍の安全確保、運行維持への不安・不満が集まってきた
- ・ **グループ**「コロナ対策事業者連絡会」で情報共有を呼びかけた

バス・タクシー事業者（30社） の現場のリアルな声

いないので、東京ほどの騒ぎにはなっておりませんが、公共交通を担うものとしてクラスターにならないよう気を付けています！
うちは、まだ減便などの対応はしていませんが、間接的に業務に関する影響は出ています。

- 1-乗務員に配布するマスク及び消毒液不足
- 2-二つある営業所で、どちらからかから発症者が出た場合を想定した閉鎖の準備
- 3-営業所を閉鎖した場合の特別ダイヤの作成
- 4-特別ダイヤを実施した場合の、市民に対する告知費
- 5-特別ダイヤを実施したことによる減収
- 6-営業所を閉鎖した期間の人員費

これらが、200人規模で関わってくる恐れがあります！

いま、近々で欲しいのは、やはりマスクです！

あと、換気については、今のバスの窓は開かないタイプ(小さい窓は開くけど)がほとんどで、運行中の換気が難しく、しかもま[REDACTED]は朝晩は寒いので、車内の換気が難しいみたいです。

【1】マスク・消毒液の配布の優先度を上げてほしい。

労働集約型の事業である私たちは、中小規模でもある程度の人員（運転手）が必要で、特にマスクの消費量が多くなります。

弊社では5月中旬までのマスクの備蓄はありますが、それ以降はそこが尽きる予定です。

「なぜマスクをしないのか」とお客様からクレームが付き、さらに寺容赦を控えられる悪循環にもなりかねないため、できれば支援いただければと思います。

【2】補助対象外の路線への支援

当社では数路線、補助対象外の路線がありますが、すべて学生輸送で成り立っている路線でした。しかし、学校休校が続いている状況で、当該路線のみ見ると、そちらの収入が半減以上となっています。

（学休期ダイヤでも、通常ではあればクラブ活動等の利用学生等が学休期でもいることと、運行形態の関係上、運行している状況です）

当社に限らず、特に都市部では自主運行の路線が多いですので、この点については切迫していると思います。

要望書に まとめて公開

新型コロナウイルス対応における 交通事業者支援の要望書

趣旨

支援内容

1.短期的な運行のための支援

1. マスク・消毒薬の確保
2. 広報・周知の支援
3. 換気に関わる設備導入の補助
4. ダイヤ変更等の条件緩和および明確化
5. 共通指針の策定

2. 長期的な事業維持のために必要な支援

1. 既存補助対象の路線の条件緩和
2. 補助対象外の路線への新たな補助
3. さらなる運行の安全確保
4. 運転手への給付等支援
5. 終息後を見据えた利用促進

本要望書の使い方

謝辞

フォーラム開催・
コンテンツ作成の
たたき台・
協力のきっかけに



国・業界団体による情報発信の惨状（4月上旬時点）

国交省 本省

- 抽象的な指示、政府共通策の羅列
- ✕ 具体的にすべきことが不明
- ✕ 経済支援の見通しが不明



これまでの大臣指示

- ・新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する国土交通省幹部会議(2020年1月21日)
- ・新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する国土交通省幹部会議(2020年1月24日)
- ・国土交通省新型コロナウイルス感染症対策本部(第1回)(2020年1月30日)
- ・国土交通省新型コロナウイルス感染症対策本部(第2回)(2020年1月31日)
- ・国土交通省新型コロナウイルス感染症対策本部(第3回)(2020年2月5日)

運輸局

- 本省よりは分かりやすい
- ✕ 地方毎に内容がバラバラ
- ✕ 更新がされていない地域も

新型コロナウイルス感染症対策情報

◎運輸・観光関係の経営への影響対策相談窓口

関東運輸局では、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、同感染症の影響を受けている観光、公共交通などの所管業界に向け以下の通り相談窓口を設置しました。
行政手続きの特別措置や緊急支援策の申請先などの相談、問い合わせをお受けしています。

◎新型コロナウイルス感染症に関する支援策

☆新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様への支援策の全体像及びその内容については、次のリンクに掲載されている経済産業省パンフレット及び事業種別ごとのチラシをご覧ください。



- 業種別支援策チラシ（宿泊業の方）
- 業種別支援策チラシ（旅客運輸業の方）
- 業種別支援策チラシ（貨物運輸業の方）

この支援策については、動画・音声による説明も行っておりますので、ご覧ください。
【動画による紹介】新型コロナウイルス感染症により影響を受けている関東地域の事業者の皆様へ
(関東経済産業局作成)
へ各種支援策へご案内

業界団体

- 議員への申し入れ写真のみ
- ✕ 情報皆無、活動不明
- ✕ 申し入れ内容すら不明

自民党バス議員連盟における新型コロナウイルス感染症による影響について

■自由民主党バス議員連盟総会

令和2年3月24日（火）、衆議院第一議員会館において自由民主党バス議員連盟総会が開催され、日本バス協会から、新型コロナウイルス感染症による影響について要望を行いました。



日本バス協会からは三澤会長、中村貸切委員長、宮本東京バス協会貸切部会長、右指理事長等が出席しました。

バス議連事務局長の盛山先生の司会により開会し、まずバス議連会長の遠沢先生及び日本バス協会三澤会長の挨拶が行われました。



議事に入り、まず、日本バス協会より中村貸切委員長及び宮本東京バス協会貸切部会長並びに右指理事長が説明を行いました。
その後、日本バス協会の説明に関し、ご出席頂いた先生方と意見交換を行いますとともに、出席された国土交通省一見自動車局長、厚生労働省及び金融庁の方々よりもそれぞれの要望に対し、しっかりと対応していくとの発言がありました。

終わりに、バス議員連盟として、自民党政務調査会に申入れをしていただくとのお言葉があり、翌3月25日、岸田政調会長へ申し入れ書を提出していただきました。

情報が無いことを嘆くより
自分たちで発信してしまえばよい



特設サイト「新型コロナウイルスによる交通崩壊を防げ！」

7

- ・ 緊急フォーラム後**3日**で特設サイトを立ち上げた(4/27)
- ・ **①感染防止**、**②運行**、**③経済支援**を中心とした内容
- ・ **現場で役立つ/最新の**情報発信を心がけ随時拡充

くらしの足維持に向けて、交通事業者、行政、学識、市民らと連携し、情報共有を行う特設サイト



新型コロナウイルスによる
交通崩壊を防げ！

緊急提言 感染防止策まとめ 運行情報まとめ 経済支援まとめ

毎日更新！ [自治体支援事例リスト](#)

2020/06/21 [地域公共交通会議・法定協議会で緊急アピールを出しませんか？](#)

2020/06/19 [感染防止拡大お願い車内掲示用ポスターの新版を追加](#)

2020/06/08 [地方創生臨時交付金・国交省補助金活用ノウハウを掲載\(PDF\)](#)

新型コロナウイルスによる
交通崩壊を防げ！

感染防止 **まとめ**

ポスター
告知テンプレ



新型コロナウイルスによる
交通崩壊を防げ！

運行情報 **まとめ**



新型コロナウイルスによる
交通崩壊を防げ！

新型コロナウイルスによる
交通崩壊を防げ！

経済支援 **まとめ**



速報! 補助要件緩和
担当者 必見! 自治体支援策 前例リスト

<https://covid19transit.jp/>



感染防止策

に関わる情報発信の支援



感染防止策掲載のテンプレートを作成

- 様々な取り組みをやっているはずなのに**アピールができていない**
- 事業者の取り組みだけではできない**利用者へのお願いが示されていない**
- そもそも日々の**運行維持だけで精一杯**

事業者名	お知らせURL	実施内容
神奈川中央交通(株)	http://www.kanachu.co.jp/dia/news/detail?tbl=4&tid=55	- 乗務員の出勤前、乗務前の検温 - 従業員の手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒の徹底 - 従業員のマスク着用の義務付け - バス車内の手すり、吊り革などの消毒 - バス車内の換気装置の使用および一部の窓を開けての運行 - 待機中における車内の換気 - バス左右最前列の座席の使用中止
西日本鉄道(株)	http://www.nishitetsu.co.jp/pdf/oshirase/corona_torikumi.pdf	- お客さまと接する従業員（乗務員、窓口等）のマスクの着用義務化 - 従業員の手洗い、うがいの励行 - 主要施設における消毒液の設置、ハンドドライヤーの使用休止 - 運行中の換気扇の使用、および待機中の換気の実施 （一般路線バスのみ）窓を開けての運行実施 ※雨天等、運行時の状況による - 営業所に消毒液を配置し、適宜車内を消毒 - 出勤前の検温、点呼時の検温結果確認の実施
東京都	https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup_information/news/bus/2020/	- 駅設備や車両の消毒 - 窓開け等による換気 - 駅等へのアルコール消毒液の設置 - 手洗い・咳エチケットやスムーズビジネスへのご協力の呼びかけ - マスクの着用・乗務員の検温等、職員の感染防止対策
阪急バス(株)	https://www.hankyu	- 手洗いやうがいの励行、マスクの着用ならびに換気装置により車内換気を行っています。 - 国土交通省や厚生労働省からの要請等を踏まえ、ご利用のお客様におかれましても、手洗い、うがい、咳エチケットなどの感染予防対策のほか、可能な限りテレワークや時差出勤などの取り組みにご協力頂くとともに、路線バス車内には開く窓がありますので、適宜お開け願います。
東急バス(株)	https://www.tokyubus	- 手洗いやうがいの励行およびマスクの着用等を実施しております。 - 運行中の車両においては、まん延防止のため空調や換気扇等の使用、および悪天候時を除き窓開けによる車内換気（高速道路等を運行する車両を除きます） - お客さまにおかれましても、くしゃみや咳が出るときにティッシュ等で口と鼻を覆ったりマスクを正しく着用するなど感染予防および対策にご協力をお願い申し上げます。
西武バス(株)	https://www.seibubus	- 乗務員、各案内係員、営業所窓口係員は手洗いの徹底とマスクの着用 - 車内においては一部の窓を開けての運行や換気扇の使用など車内換気、定期的な車内消毒
奈良交通(株)	https://www.narako	- マスク着用や手洗い・うがいおよびアルコール消毒の励行などを実施しております。 - 車内換気装置が備え付けられているバス車両については同装置を作動させていただくほか、その他の車両では一部の窓を開けての運行やバス停停車時に乗車扉を開閉し車内換気をおこなう場合がございます。

車両への対策

車種ごとに最大限の感染防止策を行います

清掃・消毒

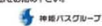
- 営業所に車両が戻るたびに車内の清掃・消毒します
- 特にお客様の接触の多い、手すり、吊り革、降車ボタンを重点的に消毒します
- 新型コロナウイルス感染症の感染者が乗車したことが判明した場合は、当該車両の運行を停止し、消毒作業を随時実施します

換気

- 空気感染を防ぐため、換気装置の使用および窓を開けての運行します
- 開放する窓ガラスには添付画像のようなステッカーを掲出します



この窓が開いている場合
換気中です
COVID-19のウィルスは、換気が必要でないお客様は、窓をお開け下さい。



(神姫バス提供)

50社の取り組みを網羅的に調査し、最大公約数でテンプレートを作成

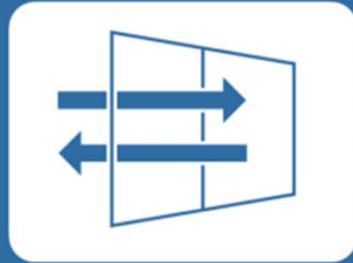


外出が必要な方のために運行を続けています

お客様の安全・安心のための取り組みを行っています



マスクの着用・健康管理



窓開けによる換気



定期的な清掃・消毒



マスクの着用を
お願いします



会話を控えるよう
お願いします



なるべく間隔を空け
ご乗車下さい

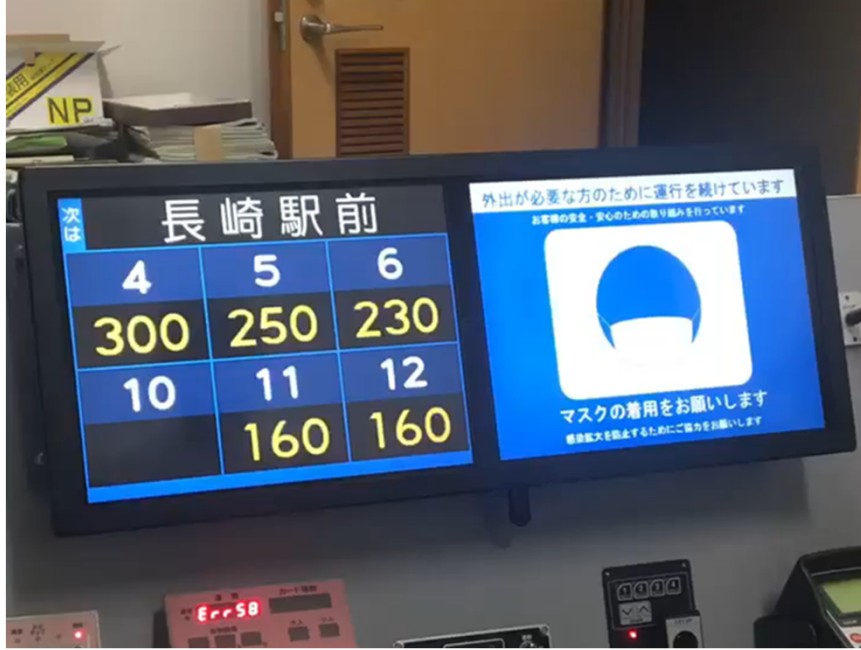
感染拡大を防止するためにご協力をお願いします

やむを得ない急ブレーキ・急ハンドルの際、危険ですので手すり・つり革をお持ち下さい。降車後に手洗いをお願いします。

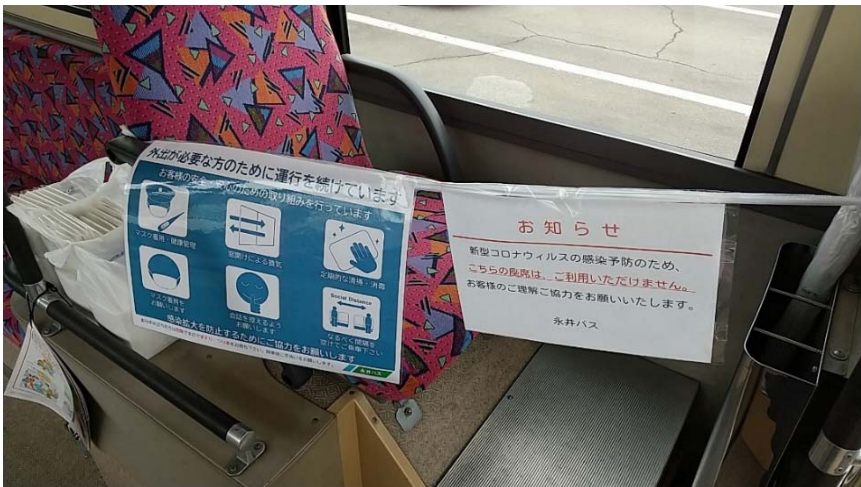
自分たちの
取り組みを
伝える

なので

皆さんも
ご協力を
お願いします



長崎県：長崎県営バス



群馬県：永井運輸

協会（3） 北海道バス協会、群馬県バス協会、名古屋市タクシー協会

自治体（6） 沼津市、中津川市、佐久市、深川市、札幌市、呉市

交通事業者（33） 十勝バス（北海道）、北海道拓殖バス（北海道）、永井バス（群馬県）、東洋バス（千葉県）、京王バス（東京都）、小田急バス（東京都）、京成バス（東京都）、東急バス（東京都）、東京空港交通（東京都）、カミコウバス（神奈川県）、北陸鉄道（石川県）、信南交通（長野県）、アルピコ交通（長野県）、長電バス（長野県）、濃飛バス（岐阜県）、岐阜バス（岐阜県）、伊豆箱根バス（静岡県）、浜松バス（静岡県）、名鉄バス（愛知県）、佐久島渡船（愛知県）、津エアポートライン（三重県）、京都市営バス（京都府）、阪急バス（大阪府）、大阪シティバス（大阪府）全但バス（兵庫県）、みなと交通（兵庫県）、神姫バス（兵庫県）、オール観光バス（兵庫県）、両備バス（岡山県）、備北交通（広島県）、伊予鉄バス（愛媛県）、長崎県営バス（長崎県）、九州産交バス（熊本県）、プノンペン市営バス（カンボジア）

コミバス（5） 武蔵野市ムーバス、豊田市おいでんバス、西尾市六万石くるりんバス、菰野町コミュニティバス

その他（3） バスタ新宿、福井路面電車とまちづくりの会、南信州地域交通問題協議会

60を超える事業者・団体で採用（7月末時点）



経済支援

に関する情報共有



国交省 補助要件緩和

- 輸送人員の要件(15人)を緩和
- ✕ 自主運行路線には関係ない

事務連絡
令和2年5月14日

各地方運輸局交通政策部長 殿
" 自動車交通部長 殿
沖縄総合事務局運輸部長 殿

総合政策局地域交通課長
自動車局旅客課長

地域公共交通確保維持改善事業費補助金（陸上交通）に係る補助要件の緩和等について

過疎地等の地域において必要な移動手段を確保・維持するための乗合バス、コミュニティバス、乗合タクシー、自家用有償旅客運送については、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員が減少している中で、地域の生活や産業を支えるサービスの継続が求められていることから、地域公共交通確保維持改善事業費補助金（陸上交通）に係る補助要件等については、令和2年度以降、当分の間、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」（令和2年4月2日改正。以下「交付要綱」という。）及び「地域公共交通確保維持改善事業実施要領」（令和2年4月2日改正。以下「実施要領」という。）の規定にかかわらず、下記のとおり取り扱うこととするので、了知するとともに、関係者あて周知をお願いいたします。

国交省 感染防止対策補助 138億円

- 交通事業者が直接申請
- ✕ 減収より2桁小さい1/2補助
- ✕ 物理・情報策中心で
運行補助に使えるか曖昧

地域公共交通における感染拡大防止対策

国土交通省

【令和2年度2次補正予算：13,805百万円】

地域の生活や経済活動を支えるために機能の確保が求められている公共交通について、地域公共交通事業者が十分な感染拡大防止対策を講じることができるよう、駅・車両等の衛生対策や、車内等の密度を上げないよう配慮した運行等の実証事業を支援。

補助対象経費

- 車両・船舶・航空機における抗菌・抗ウイルス対策
- 熱感知カメラ等の設置
- バス運転席仕切りカーテン隔壁の設置
- 混雑時の移動（密な移動）回避を目的としたリアルタイム情報を提供するシステム導入
- 必要な感染症対策を行ったうえで、車内等の密度を上げないよう配慮した実証運行
- 駅・ターミナルの衛生対策 等

補助対象事業者

- 鉄軌道事業者（地域鉄道）
- バス事業者（地域バス）
- 旅客船事業者（定期航路（生活航路））
- 航空運送事業者（特定本邦航空運送事業者を除く。）

補助率

- 1/2等



ターミナル等の衛生対策



車内の抗菌・抗ウイルス対策



熱感知カメラ設置による感染者の公共交通利用自粛運行



バス運転席仕切りカーテン



車両の混雑具合を提供するシステムの導入（カナダ・transit）

内閣府 地方創生臨時交付金 3兆円

- 金額が大きい
- ✕ 損失補填はNGと明記
- ✕ 自治体を介して支給
- ✕ 他分野との予算の取り合い
- ✕ 交付されないリスクあり

24.公共交通（バス、鉄道、旅客船、航空等） 応援事業

他の支援施策の対象とならない又は超える部分について、経営に大きな影響を生じている公共交通機関及び関連事業者に対して、3密を避けるための運行に協力する場合や、収束後に利用を喚起するために便数や施設等の利用環境を整える場合に、奨励金等により支援。



25.地域公共交通機関の高度化支援事業

収束後の地域の移動を支えるため、経営に大きな影響を生じている地域公共交通機関に対し、他の支援施策の対象とならない又は超える部分について、収束後の経営持続化に資する省メンテナンスで環境性能に優れた車両・船舶への入替や施設管理の効率化等に関する取組に要する経費の一部を支援。



◆事業者等への損失補償

事業者等に対する施設の使用の制限、催物の開催の制限等の要請・指示に伴い生じる損失を補償する目的で行う支出経費には、交付金を充当しないこと。

ストレートな施策ではなく使いづらい……



2020/06/07 JCOMM緊急会議 より

遅い、足りない、使えない、
ともっともな意見が多数

国交省も
政府方針上の苦肉の施策だが
うまく使ってほしい
と考えている

赤裸々な意見、仰る通り

国交省 地域公共交通における感染拡大防止対策

バス会社	直接的な収入の補填がなければ、地方の交通事業者は本当に倒れます
?	感染予防策は既に着手している事業者も多い、二次補正 1 3 8 億の補助金は 今更感
地方鉄道	補助金は1/2補助の場合、 残り1/2 の分についてだれが持つのかが決まらないと申請できない

地方創生臨時交付金

地方鉄道	交付金は「赤字補助」としてはいけないうとすると、結局、 資金繰り、事業継続に実質使えない
自治体	現地に来たことが無い人が東京で審査をするので、全然納得のいかない審査結果が示される 交付金をあてにして事業を進めるのはリスク。 内閣府が不採択にすればそれまで。
自治体	地方への 丸投げ感 がある。公共交通への支援は 財政課 になかなか理解されない。 交付金はあてにならないので少額だが独自予算でやる。
バス会社	自治体に計画を作ってもらうのが困難。待てないので独自で対策する。

全体的に

学識	ゼロを1つか2つ付け忘れるというのは、いつものことですので
学識	ドイツはDBに6200億円、地方公共交通に3100億、消費税を軽減。 日本だけガラパゴス状態。

必要なこと

- ・ **運行支援**に建付け次第で使えることの周知
- ・ 金額が大きい交付金獲得へ**自治体**を動かす

➡FAQ / 事例集 / 勉強会 / 個別サポート



- ・「**実質的な運行支援**を考えていきたい」という国交省課長の発言を強調
- ・関係者への個別ヒアリングをまとめた

国交省補助 FAQ

関係者ヒアリングを踏まえた
太田の整理です

Q. **運行補助**に実質的に使えるのか？

3. 財力が脆弱な事業者の経営行き詰まりの回避

- 「地域公共交通における感染拡大防止対策」(2次補正)
- 「地域公共交通価値維持改善事業」の補助要件の緩和等

A. **実証運行**と説明できればアリ

- ・「事業者の経営行き詰まりの回避」にあるのはそういう意図
- ・工夫次第で追加費用を抑えて「実証運行」は可能
- ・例) 減便状態から平常便数に戻して混雑状況・積み残しを検証
- ・例) 通常ダイヤ自体を見直した場合に**当面は実証運行扱い**とする
- ・「実質的な運行支援を考えていきたい」と地域交通課長から説明



Q. **過去の施策**に使えるのか？

A. **制度の運用次第**

- ・「実証運行」は性質上、今後の支出が中心になりそう
- ・ハード策は実施済みが多いので、**過去にも適用可にしてほしい！>国交省**

臨時交付金 FAQ

関係者ヒアリングを踏まえた
太田の整理です

Q. **損失補償**に使用できないのでは？(24.公共交通応援事業)

A. **立て付け次第**

- ・混雑緩和・利用喚起・過疎地の生活維持などの名目を立てる
- ・1系統〇万円、1台〇万円といった支給も可能と考えられる
- ・「奨励金」と称しているのは「損失補填」ではないアリバイ

Q. **スクールバス**にしか使えない？(23.密集軽減のための輸送能力増強事業)

A. **事業所の通勤バス特定輸送などにも使えるはず**

- ・文科省のタマだが「密集を避けるためのバスの増便・増車」「少数・多頻度輸送」は他施設にも当てはまる

Q. **過去の施策**に使えるのか？

A. 自治体が過去に適用する制度にすれば**OK**

Q. **素早く**事業者資金に届けるには？

A. **概算払い**の項目を自治体の制度要綱に入れるとよい

当局から言いづらい内容を記載し
「使えない」と現場が諦めないように努めた



地方自治体からの支援

- 地方自治体が実施する公共交通事業者に対する**支援事例を独自調査・毎日更新**
- WEBサイトに公開されている情報に加え、予算資料等の**関連情報を網羅的に把握**
- メディアや議員ブログなどの2次情報を排除し、**原典へのリンクを掲載**

市町村の事例

札幌市（0626追記）

[公共交通確保緊急支援費](#)

- 路線バス（市内路線のみ）：1台あたり10万円
- タクシー：1台あたり1万円

函館市（0521,0703追記）

[函館市公共交通事業者等特別支援金](#)

- バス：1事業者あたり30万円
- タクシー：1事業者あたり30万円、個人事業者10万円
- 函館バス営業所土地建物等貸付料の減額：1/2減額×6ヶ月間

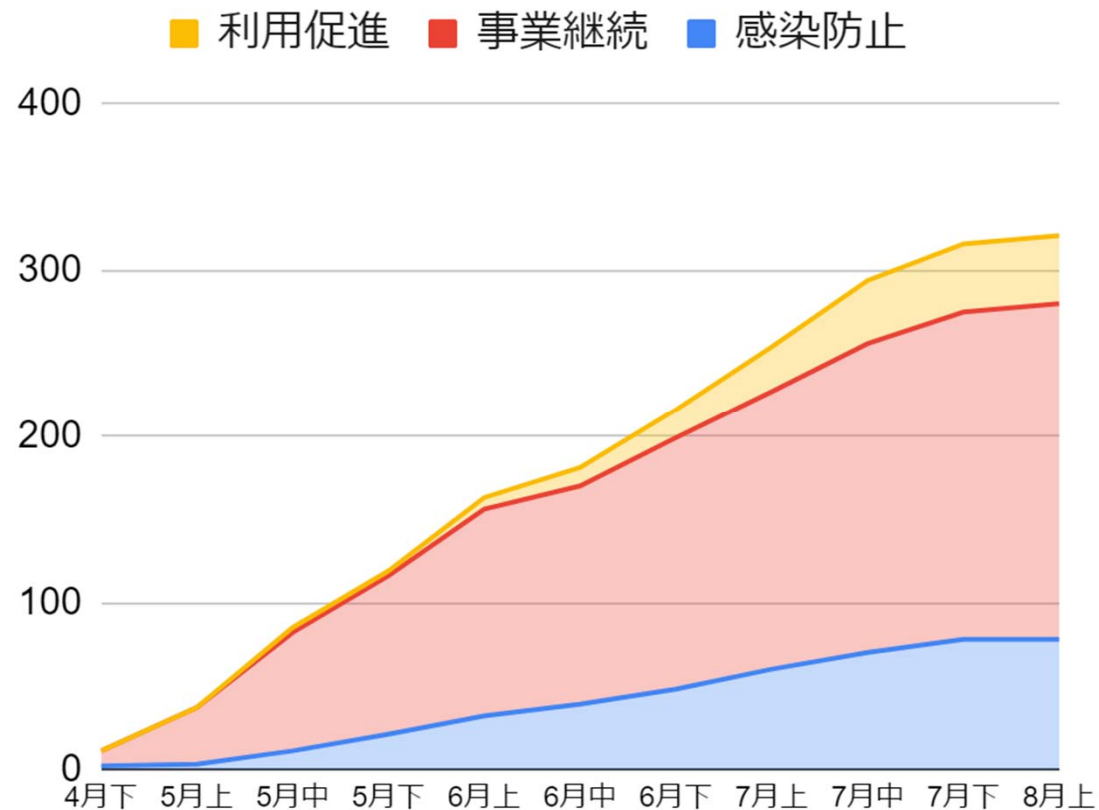
[函館市貸切バス利用促進事業補助金](#)

- 貸切バス：条件を満たす貸切バスツアー1台あたり15万円

旭川市

[旭川市公共交通事業者等緊急支援金](#)

- バス、タクシー：1法人あたり30万円+1台あたり1万円加算（上限200万円）、個人事業者10万円
- [福祉タクシーへも対象拡大](#)



多くの支援策が示されているが、割合としては2割程度しかない



理解のない上司の言葉

隣の自治体は**やってない**よね
しばらく様子を見ようよ
(だからやらない)

隣の自治体まで渡っているから
うちだけじゃできない
(調整する気はない)

国や**都道府県**がやるでしょ
あまり刺激したくない
(つまりやりたくない)

特設サイトの情報

日々追加される情報を毎日更新
「やっている」事例を示す

沿線自治体での**協調補助**

- 松浦鉄道（2県4市2町）
- 東三河地域（5市1町）
- 万葉線（2市） など

国・都道府県の支援も網羅
欠けている**支援内容の補完**

(いい意味での) 地方自治体の横並び感を醸成



南信州地域交通問題協議会



powered by 南信州新聞

[トップ](#)
[行政](#)
[経済](#)
[社会](#)
[学校](#)
[スポーツ](#)
[地域の話題](#)
[文化・芸能](#)
[医療・福祉](#)

[<<前の記事](#)
[次の記事>>](#)

緊急アピールを採択

社会

[2020年 6月 16日 火曜日 15時10分]

飯田下伊那地域の14市町村などでつくる南信州地域交通問題協議会（会長・牧野光朗飯田市長）は16日、本年度総会を飯田市内で開き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う「公共交通崩壊」を食い止めるための緊急アピールを全会一致で採択した。



協議会によると、コロナの影響で4月の高速バスの利用者数は前年同月と比べ9割減り、路線バスとタクシーはともに6割減となった。

緊急アピールでは、この状況が続くことで「地域公共交通を支える交通事業者の事業継続が危ぶまれる」と指摘が出ることを予想し、地域住民に向けては各公共交通機関の感染防止策クシーといった公共交通を積極的に利用するよう求めた。

国や県に向けては、持続可能な公共交通の維持確保のための必要な支援を求める。牧野会長は「公共交通なくして地域の存続はありえない」などと述べた。

この日の総会では2019年度の事業報告と決算報告、20年度の事業原案通り承認した。

事業計画によると、本年度は南信州地域の公共交通マスタープランに位交通網形成計画」の最終年度に当たり、新たな計画となる「南信州地域公組む。計画期間は21～26年の5年間で、計画区域は14市町村の範囲

南信州地域の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール

南信州地域交通問題協議会は、南信州地域14市町村が一体となり地域の公共交通を守り地域全体の「おでかけ」を保障するために、平成20年3月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく協議会として設立しました。

協議会では、この地域で住み続けられるよう高校生、高齢者等の通学、通院の足の確保はもとより、広く住民や来訪者に公共交通を使っていたくれるよう様々な取組みを実施してまいりました。

こうした中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響は公共交通にも非常に大きなダメージを与えています。昨年同月比でみれば、4月は高速バスは約90%、路線バス、タクシーはともに約60%もの利用者の減少がみられます。このままでは、地域の公共交通を支えていただいている交通事業者の事業継続も危ぶまれる状況であり、そうなれば住民の生活にも大きな支障が生じます。

各公共交通機関では、三密を防ぐためにラッシュ時の増便や、換気、消毒等様々な取組みを行っていただいています。協議会としても、こうした各公共交通機関の感染防止策の取組みを住民の皆さんに知っていただく等、公共交通を守り利用促進に向けた必要な取組みを実施してまいります。

地域の皆さんには、日常生活における重要なインフラでもある公共交通の大切さをご理解いただき、感染防止に留意したうえで、電車、バス、タクシー等の公共交通を積極的に利用していただくようお願いします。

また、国土交通省及び長野県に対しましては、こうした地域の窮状をご理解いただき、持続可能な公共交通の維持確保のために必要な支援を速やかに実施していただきたく、緊急アピールを宣言いたします。

令和2年6月16日

南信州地域交通問題協議会

会長 牧野光朗

（南信州広域連合長）

沼津市

地域公共交通の崩壊を食い止めるために

いいね！0

ツイート

2020年7月30日更新

沼津市では昨年度、行政と交通事業者、有識者や観光事業者などで構成する「沼津市地域公共交通協議会」を設置し、地域にとって望ましい公共交通ネットワークを目指す「沼津市地域公共交通網形成計画」を令和2年3月に策定しました。また、路線退出への対応や、自主運行バスの運行、EVバスの導入支援など、市民の生活に必要な旅客輸送の確保と旅客の利便の増進を図るための取り組みを進めてまいりました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通を取り巻く状況が一変しています。

◆利用者が激減しています！！

	令和2年4月 (平成31年4月)	令和2年5月 (令和元年5月)	令和2年6月 (令和元年6月)	3ヶ月計 (前年度3ヶ月計)
市内バス事業者 3社計	318,402人 (663,420人) 約52パーセント減	326,846人 (695,729人) 約53パーセント減	455,900人 (672,101人) 約32パーセント減	1,101,148人 (2,031,250人) 約46パーセント減
市内タクシー事業者 比較数値のある10社計	58,909人 (159,921人) 約63パーセント減	56,181人 (149,086人) 約62パーセント減	92,866人 (149,816人) 約38パーセント減	207,956人 (458,823人) 約55パーセント減

◆感染拡大防止対策の取り組みを行っています

外出が必要な人がいるため、交通事業者は運行を継続しています。利用者の安全確保のため、各公共交通機関では感染拡大防止に向けて様々な取り組みを行っています。

主な取り組み

- 乗務員、従業員はマスクを着用し接客しています。
- 乗務前に健康状態を確認しています。
- 手洗い、消毒、うがいを励行しています。
- 手すり、つり革、にぎり棒や座席等の消毒を行っています。
- 窓を開けての換気若しくはエアコンの吸排気機能を利用又は換気扇による換気を実施し、起終点ではドアや窓を開けて換気を行っています。

金銭を伴わなくても、必要な情報をまとめて発信することでも有効な支援



課題の認識

- 情報発信（網羅性・即応性など）に関わる**リテラシーの改善**が必須
- 災害時の情報発信はこれまでも多くの**ボランティアで支えられているが、これは美談でなく改善すべき課題**。国・運輸局・協会の役割の再確認

特設サイトでの取り組み

- **先回り調査**
 - やるべき人がやらないのを嘆くより、とにかくやってしまう
 - 本来やるべき人が追いついてきたら還元する
- **SNSの活用**
 - 現場の先駆者と即応性のある情報収集
 - 不安・不満を見える化して施策につなげる
- **FAXからWEBへ**（2020年ですよ!）
 - 日々変わる情報を随時更新
 - 必ず原典資料を辿れるリンクを設置
- **横並び意識の醸成**
 - 実施事例をオープンにして「やること」を横並び
- **実質的運行支援プロパガンダ**
 - 国・自治体の立場では言いづらいことまで踏み込んだ情報発信